

平成29年9月15日実施 地域産業支援施策の 積極的活用に向けて (IN 神戸市)

1. 経 緯

きっかけは、兵庫県の地域金融機関であるみなと銀行からのオファーでした。これまで各地域で金融機関と近畿財務局が連携し地方創生のための支援を展開してきましたが、個別金融機関からオファーを直に受けるのは初めてのことで、しかも第二創業という難しそうなテーマです。

「兵庫工業会の次世代を担う会員で構成される「しんゆう会」から依頼を受け、当行から第二創業事例を紹介するが、第二創業にかかる支援施策や全国の幅拾い事例なども紹介できないかと思い、そういう支援機関を知っていれば紹介してもらいたい」という、内容も具体的な依頼。

これまで金融機関・自治体向けに、創業支援、雇用助成、海外展開など、テーマを変えた産業支援のためのセミナーを実施してきたものの、企業向けには初めて。とはいえ、ここで諦めてはちほめん活動（注）ではないと考え、まずは一歩ということで動いてみることに。

幸い、これまでの産業支援のためのセミナーでお世話になっている近畿経済産業局に同テーマで講師を依頼させていただいたところ、事例はまだまだ少ないながら、同局独自の支援施策を紹介いただける運びとなりました。また、兵庫県産業労働部にもお声かけすると、こちらも県の第二創業等支援施策であればということで承諾いただけることになりました。

こうして平成29年9月15日に「しんゆう会」の9月例会に合わせ、第二創業をテーマにしたセミナーを開催することとなりました。以下セミナー当日の様子をお伝えします。

（注）ちほめん活動とは、近畿財務局の若手有志職員が、地域の課題解決のため何かお手伝いできないか、近畿2府4県各地にお邪魔し、様々な企画を提案し、スタッフとして実行させていただくおせっかいな団体です（ちほめんとは地方創生企画推進メンバーという長い名前の愛称です）。今回のセミナーもこの一環の活動の中で実現しました。

2. 当日

当日は神戸・三宮のセンタースプラザ西館会議室に、日頃から積極的に経営者勉強会に取り組む「しんゆう会」メンバーのほか、兵庫工業会事務局の方々など約15名が参加。『第二創業』をテーマに、(株)みなと銀行、近畿経済産業局及び兵庫県が講師となりセミナーを開催。

<開会挨拶>

まず、兵庫工業会しんゆう会を代表し、兵庫県相生市に本社を構える陰山電機(株)の陰山聡代表取締役より「景気には波があるが、経営者目線で、現在の経営状況を中長期的に見極め、既存事業をこれからも続けるのか、また、新たな業種、新たな仕事がないのかを常に考えていかなければならない。今日は『第二創業』をテーマに講演をいただく。是非、何か新しいことを考えたり、始めるための参考としていただきたいと思います」との開会挨拶をいただきました。



<第1部>

プログラムの第1部では、『認定支援機関からみた第二創業事例の紹介と特徴』と題し、(株)みなと銀行法人業務部の楡井（にれい）主任調査役より講演いただきました。

まず、近時の第二創業では、(1)傾向として、①環境変化によって既存事業に対する成長性や継続性への不安を契機とした「業種転換を視野に入れた第二創業」と、②後継者が既存事業の強みを活かしつつ、時代に即した新事業を狙う「事業承継を伴う第二創業」があるとし、(2)手法では、①技術力を活かし開発・生産した製品を販売促進の強化により消費者に売り込む「プロダクト・アウト型」と、②市場ニーズ・消費者ニーズに合わせて製品を開発・供給する「マーケット・イン型」があるが、近年は生産志向（プロダクト・アウト）から、市場志向（マーケット・イン）への転換が顕著に進んでいると説明。



次に事例として、①従来の金属製品製造業者が自社の課題克服のため開発した装置について、販売（製造業）から持ち込み（サービス業）に転換した新たなビジネスモデルを策定した事例、②在庫管理不徹底による収益力低下が喫緊の課題である石油元売り業者が、事業承継を控え、ICTを導入し、車載タブレットによる在庫管理システムを開発。今後は同システムを同業他社に販売する事業化を準備中であると、2例を紹介。



そして、企業統治の形態（管理部門出身、技術部門出身）と販売対象市場（BtoB、BtoC）をマトリックスで分類し、企業の特徴を示し、自社の環境を分析したうえで、成長戦略へのアプローチが必要であると説明。

最後は、企業の強み・弱みを経営者がよく知り、補助金なども活用して、リスク軽減策を講じたうえで、ICTやIoTを活用した第二創業へのチャレンジが重要であると締めくくりました。



<第2部>

第2部では、近畿経済産業局産業部創業・経営支援課の伊藤課長補佐より、「関西企業家・ベンチャーエコシステム構築プロジェクト」について紹介いただきました。

○関西における創業・ベンチャー支援施策の現状

支援施策・支援体制は整備されつつある一方、地域で萌芽しつつある起業家コミュニティやベンチャー群と、支援者（金融機関、支援機関、自治体、既存企業、大学など）の官民様々な支援者との広域的な連携やネットワーク構築は限られた関係性でしか実現されていない。

○プロジェクトの概要

関西における地域発ベンチャー・起業家の更なる発展に向け、起業家と支援者をつなぐ体制構築支援と、他地域（国外を含む）とつなぐ仕組みを構築し、起業家自らが成長していく環境整備する。

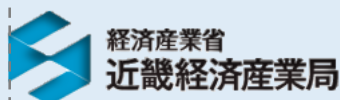
<概要>

1. 広域プラットフォームを構築し、
2. 競争力のある起業家群に対し、
3. イノベーターロールモデルや支援情報等の提供・発信を
4. ポータルサイトやSNSの活用、カンファレンスの開催を通じて

「地域でイノベーターを生み、育てる好循環（＝「エコシステム」）を確立

<プロジェクトターゲット>

- 技術系ベンチャーで破壊的イノベーションを興す起業家【テック系ベンチャー】
- 事業承継を機に既存の経営資源を活用し、新たな価値を生み出す若手経営者【ベンチャー型事業承継】
- 地域資源活用や地域課題の解決などの社会性と事業性を併せ持つビジネスを展開する起業家【地域課題解決型ベンチャー】



<第3部>

第3部では、兵庫県産業労働部新産業課の近澤（ちかざわ）班長より、県の第二創業を含む創業支援施策について紹介いただきました。

○助成金の紹介

1. 女性起業家支援事業（上限100万円）
（第二創業関連の採択事例）
webデザイン等の事業を実施してきた女性起業家が、（単なる就業支援に留まらず）企業のニーズと地元主婦のスキルを結ぶプラットフォームを構築する新事業を展開
2. シニア起業家支援事業（上限100万円）
3. ふるさと起業・移転促進事業（上限200万円）
4. クリエイティブ起業創出事業（上限200万円）



○その他、第二創業でも活用できる施策

1. 新事業創出支援貸付

新製品開発のための研究や新事業創出への取組みを無利子貸付で支援

2. ひょうごふるさと応援・成長支援事業（募集終了）

ふるさとの応援・成長に資する優れたビジネスプランに対し、投資型クラウドファンディングを活用した資金調達等の支援

などについて紹介をいただきました。



3. 最後に

皆さまのご協力をもちまして、今回のセミナーも無事に終了することができました。改めてお礼申し上げます。

今後も、地域経済の発展のため、各機関や各地域の要望に応じて、産業支援施策の積極的活用に向けたセミナーを開催していきたいと思いをします。

どうぞご期待ください。

（参考）これまで実施した地域産業支援施策の積極的活用に向けたセミナーの実績
（金融機関・自治体向け）【大阪合同庁舎4号館8階】

第1回：平成29年2月7日

『創業支援・平成29年度地域で利用可能な経済産業省予算』（近畿経済産業局）

第2回：平成29年4月14日

『雇用関係助成金・農業関連補助金・農業融資・農業参入支援』（大阪労働局、近畿経済産業局、農水省、日本政策金融公庫）

第3回：平成29年6月21日

『企業の海外進出・海外展開』（近畿経済産業局、JETRO大阪本部、中小機構近畿本部、JICA関西、INPIT）

第4回：平成29年9月6日

『企業支援のための専門家相談・派遣事業・生産性向上』（近畿経済産業局、中小機構近畿本部、兵庫信用金庫）

今回の企画でお世話になった方々、本当にありがとうございました。

近畿経済産業局 産業・経営支援課 伊藤課長補佐
兵庫県産業労働部 産業振興局新産業課 近澤新産業創造班長
株式会社みなと銀行 法人営業部 榆井主任調査役
株式会社みなと銀行 地域戦略部 森田執行役員
公益社団法人 兵庫工業会しんゆう会のみなさま

TEAM ちほめん（中川・松島）

